

はじめに

平成27年は戦後70年の節目の年です。

太平洋戦争において、わが国は各都市が繰り返し空襲され広島や長崎に原爆が投下されるなど、壊滅的な被害を受けました。

旧東淀川区（現在の淀川区と東淀川区）でも、昭和20（1945）年6月7日・15日・26日の3度、大空襲に見舞われました。小型爆弾、大型爆弾、焼夷弾、低空からの機銃掃射などが雨あられと降り注ぎ焼き尽くす、いわゆる絨毯爆撃が加えられ、多くの方が被災しました。

焦土と化した大阪のまちは、今では見事に立ち直りましたが、戦争を体験した世代が少なくなり、悲しみの歴史を伝えることが難しくなっています。

東淀川区では、戦争体験を風化させず、戦争の悲惨さと平和の尊さを若い世代に継承していくため「戦後70年わたしの東淀川遺産」事業を実施し、戦争体験の聞き取りや区内の戦争遺跡の調査を経て、本冊子を作成いたしました。

この冊子を通じて、皆さんにもあらためて歴史を振り返り、平和の大切さを心に刻んでいただければ幸いです。

また、冊子作成にあたりご協力いただきました戦争体験者の方々をはじめ、関係各位のご尽力に敬意を表し、厚く御礼申し上げます。

平成27年10月 東淀川区長 金谷一郎

東淀川区と戦争

私たちのまちは戦争でどんな被害を受けたのだろう。

当時の児童や生徒はどんな境遇にあったのか、

戦時中の東淀川区の様子をご紹介します。



赤色が空襲の被害のあった地域

大阪大空襲一覧（昭和20（1945）年3～8月）

	日時	来襲機	主な被災地域	被災面積	被災戸数	被災者数	死者数
第1次	3月13日 23時57分～14日3時25分	B29:274機	浪速区、西区、南区、港区、大正区、東区、西成区、天王寺区	21.0平方キロ	136,107戸	501,578人	3,987人
第2次	6月1日 9時28分～11時0分	B29:458機 P51:少数	港区、此花区、大正区、福島区、北区、天王寺区、東区、大淀区	8.2平方キロ	65,183戸	218,682人	3,112人
第3次	6月7日 11時9分～12時28分	B29:409機 P51:138機	東淀川区、都島区、大淀区、旭区、淀川区、豊中市、福島区、北区	5.7平方キロ	58,165戸	199,105人	2,759人
第4次	6月15日 8時44分～10時55分	B29:444機	東淀川区、西淀川区、天王寺区、生野区、東成区、西成区、淀川区、北区、東区（ほか尼崎に大被害）	4.9平方キロ	53,112戸	176,451人	477人
第5次	6月26日 9時18分～10時22分	B29:173機	東淀川区、此花区、福島区、西淀川区、城東区		10,423戸	43,339人	681人
第6次	7月10日 1時33分～3時6分	B29:116機	堺市、住吉区、貝塚市	2.6平方キロ	16,488戸	65,825人	1,394人
第7次	7月24日 10時44分～11時1分	B29:117機	此花区、城東区、東区、守口市		893戸	3,503人	214人
第8次	8月14日 13時16分～14時1分	B29:145機 小型機若干	東区、城東区		1,843戸	2,967人	359人

小山仁示「改訂大阪大空襲」をもとに作成